

令和2年度「NPO共生・協働・かごしま推進事業」実施結果

(事業名)かごしま高齢者交通事故防止事業

実施主体

(団体名)合同会社SLL かごしま地域見守りネットワーク「みま～も・かごしま」
(担当課名)男女共同参画局 くらし共生協働課



背景

県下では高齢者の関連する交通事故の割合が増加しており、17年連続で高齢者が全死者数の過半数を占めている。全国的にも高齢者が加害者となる交通事故が増加しており、高齢者に対する交通事故防止対策が不可欠である。高齢者の交通事故の要因の一つに高齢者の認知機能低下と運動機能低下があることから、高齢者の交通事故防止に向け、地域の実情に応じた対策を推進する必要がある。

地域課題

- 高齢者に対して、認知機能低下や運動機能低下に着目した効果的な交通事故防止対策が行われていない。
- 地域に根ざした住民主体の交通事故防止対策に関する活動を支援するネットワークがない。
- 交通事故防止プログラムを実行していくための人材が不足している。

事業のねらい

かごしま地域見守りネットワークで実施している「みま～も・かごしま」プログラムの概念を活用し、地域住民によるボランティアグループと、地域包括ケア推進員等による地域福祉専門職ネットワークとの連携を図る。両者の連携によって、地域の高齢者を対象にした交通安全講話と認知症をはじめとした介護予防活動を継続的に行い、高齢者が元気に生活できる住民主体の地域づくりの基盤を作り、加齢が原因で生じる交通事故の防止対策を推進する。

また上記ネットワークを維持するための人材育成も合わせて行うことにより、地域住民が主体となって持続して交通事故防止に取り組むための基盤作りを行う。

事業概要

1 地域の広場づくり活動

地域住民の活動拠点「みま～もカフェ」の設置（3地区）

2 安心ネットワークづくり活動

地域に根ざした住民主体の活動支援ネットワークの構築

3 高齢者の交通事故防止セミナー検討会の開催

鹿児島市郡元地区：3回（9/10，10/24，11/1）

日置市郡地区：3回（9/27，10/11，11/8）

南九州市平山地区：4回（9/9，10/16，11/11，11/27）

4 高齢者の交通事故防止セミナーの開催

鹿児島市郡元地区11/23，道路横断体験，徘徊見守り

訓練

日置市郡地区12/8，交通安全講話

南九州市平山地区1/29，自転車ヘルメット贈呈式，介護予防体操

5 事後セミナーの実施

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からZOOMによる合同実施



成果

地域住民が交通安全に関する課題について、企画・立案・実施することにより、住民同士の連携を高めた。

また、交通ボランティアや地域包括ケア推進員等の地域福祉専門職が交通安全教育活動に携わることで、高齢者が交通安全教育に関わりながら元気に生活できる住民主体の地域ネットワークを形成することができた。

・KKB鹿児島放送の取材 1件



協働の状況

- 1 地域の広場づくり活動&安心ネットワークづくりの活動
- 2 高齢者の交通事故防止セミナー
 - ・ 直接の声掛け・連絡・訪問を重ねる役割の担当者：**輝く人生創り研究所, 小平裕子**
 - ・ 説明会設定と説明会資料準備, コーディネート：**輝く人生創り研究所**
 - ・ 総合的な事業活動遂行の協働者としての役割：**自治会から高齢者主体ボランティアグループ**
日置市宮脇: **もくれんの家 | 河野博美, 看護師**
川辺市平山下: **ひらやまの家 | 中迎聡子, 事業主**
鹿児島市郡元: **かっちゃん邸 | 有村宣彦, 理学療法士**
 - ・ アンケート作成・集計 & 全ての活動集会の記録の役割: **輝く人生創り研究所, 長崎なるこ**

今後の取組

今回の事業で形成したネットワークを継続し、地域で活発に活動している高齢者や福祉関係者を中心に交通安全教育の更なる浸透を図る。

地域単位で定期的な「交通安全意識の高揚」を目的とする「気づき」セミナー等を企画し、高齢者自らが参加・経験できる機会を得ることができる地域づくりを目指す。

地域高齢者主体のボランティアグループ（自治会を中心）と地域専門職チームとの協働関係を構築する。



協働事業の感想

団体からの声

もくれんの家 河野 博美

事業で看取り関係を行う仕事で、これまであまり多くなかった、地域の方々との触れ合う場を持つことができ、とても有意義な機会であった。

団体からの声

ひらやまの家 中迎聡子

今まで取り組みたいと思っていたことが、このような機会でも実現できたことをとても感謝している。引き続き、地域の方と連携し交通安全に寄与していきたい。

担当課からの声

地域住民が交通安全に関する課題について、企画・立案・実施することにより、住民同士の連携を高めることができたことは大変意義深い。

今回の事業で構築したネットワークを継続し、地域で活発に活動している高齢者や福祉関係者を中心に交通安全教育の更なる浸透を図ることを期待したい。